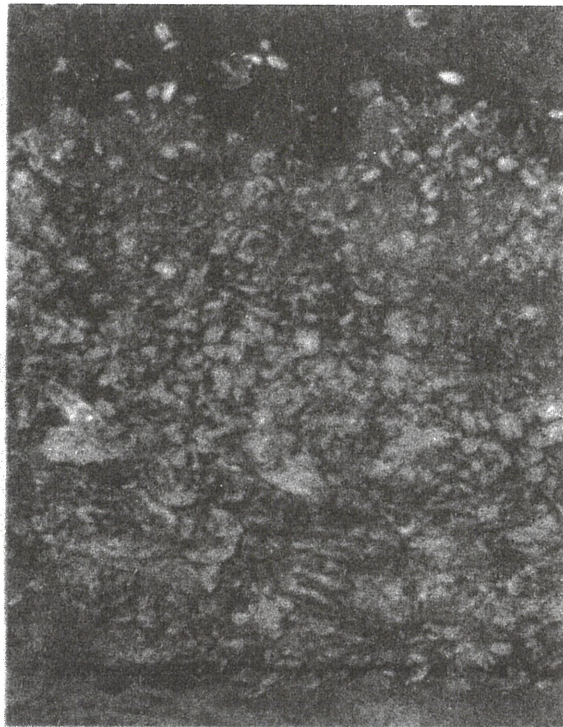
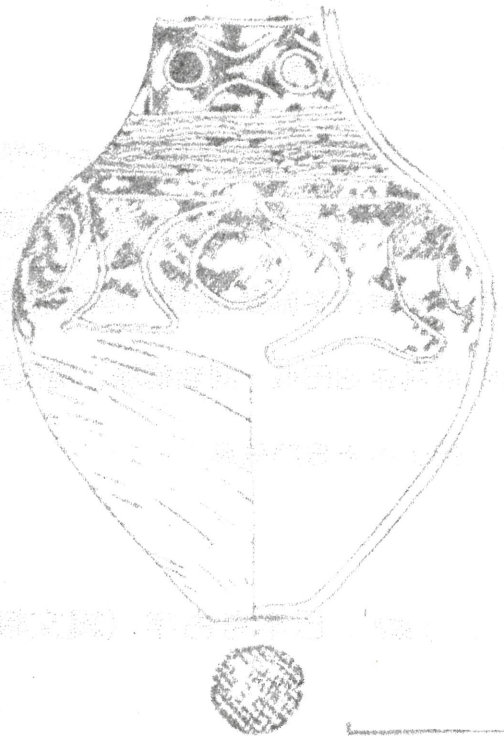


令和6年度 郷土を知る講演会（第3話）

- 日時 令和7年2月16日（日）午後1時30分（開場：午後1時）
- 会場 板倉町南部公民館 2階講堂
- 講師 みやた つよし 宮田 毅 氏
- 演題 縄文時代は海だった！ ～やがてコメづくりのムラができた～



寺西貝塚の土層断面



辻（美城）遺跡出土の弥生土器壺

【講演概要】

縄文海進、コメづくりのムラの誕生、古墳文化の波及、コメの増産などをキーワードとして、身近な遺跡を取り上げながら、板倉における農業社会の発展について一緒に学ぶ

- 定員 先着100人（無料）
- 申込開始 令和7年2月8日（土） 定員に達し次第締切り
- 申込時間 午前9時から午後5時まで（※月曜日、祝日を除く）
- 申込先 板倉町南部公民館 電話 82-1424
- 主催 南部公民館利用団体連絡協議会

〈 郷土を知る講演会 講師プロフィール 〉

講師：^{みやた}宮田 ^{つよし}毅 氏

- ・板倉町大字大高嶋生まれ（1952年）
- ・群馬県立館林高等学校卒
- ・國學院大學文学部史学科（考古学専攻）卒
- ・元 太田市教育委員会教育部文化財課 課長(参事)
- ・現 日本考古学協会 会員（埋蔵文化財保護対策委員会 委員）
- ・現 群馬県沼田城、同岩櫃城、埼玉県鉢形城、同小倉城などの調査整備委員会専門委員
- ・現 桐生市史専門委員

専門分野：日本考古学（縄文時代晩期・弥生時代後期・戦国期城郭）

主な著書：

- ・「弥生時代の社会と生活」『板倉町史 通史 上巻』（1985）板倉町史編さん委員会に拙稿
- ・「金山城」を『別冊歴史読本 16 最新研究 日本の城・世界の城』（1999）新人物往来社に拙稿
- ・「金山城 城破りの二つの手法」を『城破りの考古学』（2001）吉川弘文館に拙稿
- ・「東国戦国期石垣の実像」を『戦国時代の考古学』（2003）高志書院に拙稿
- ・「金山城」、「反町城」、「上江田城」を『関東の名城を歩く 北関東編 茨城・栃木・群馬』（2011）吉川弘文館に拙稿
- ・その他考古学専門誌へ論考多数を拙稿